

インフォシス、Everest Group の「ServiceNow Services PEAK Matrix® Assessment 2021」で リーダーの地位を獲得

インフォシス「Cobalt」の Enterprise Service Management Café を
ServiceNow プラットフォームに構築し、市場投入時間の迅速化に貢献

バンガロール（インド） – 2020 年 11 月 2 日: 次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである [インフォシス](#)（NYSE: INFY）は、本日、Everest Group の「ServiceNow Services PEAK Matrix® Assessment 2021」においてリーダーの地位を獲得したと発表しました。リーダーとは、ServiceNow が提供するポートフォリオ全体を対象とした大規模トランスフォーメーションに関与して実施能力を発揮し、人材に特に注力するサービスプロバイダーと定義されています。これらのリーダーは、豊富な投資を受けて ServiceNow の業界や機能に特化したソリューションを共同開発し、業界に特化した ServiceNow パートナーを獲得し、購入者満足度の高い ServiceNow のサービスを提供します。

インフォシスは、[Infosys Cobalt](#) の一部として ServiceNow プラットフォームで市場投入時間の迅速化を担う「Enterprise Service Management Café」により、価値を提供していると認められました。また、この報告書では、ServiceNow サービスの購入者層の全体に対して効果的に顧客の要望に応じる能力が注目されました。

Everest Group は、ServiceNow サービスのトッププロバイダー 20 社を対象としたアセスメントを実施し、多段階の調査分析プロセスを経て、コンサルティング、導入、保守、サポートにおける各社のビジョンと能力の評価が行われました。

同報告書で注目された、インフォシスの強みとなる領域は次のとおりです。

- Enterprise Service Management Café をはじめとした IP ツールとアクセラレーターの強固なスイートを構築し、ServiceNow プラットフォームの市場投入時間を迅速化
- ServiceNow エリートパートナーであり、ServiceNow のグローバルな評価と南北アメリカ地区での地域的な評価から、同社のグローバルなデリバリー能力に注目が集まる
- ServiceNow サービスの製品全体で、エンドツーエンドトランスフォーメーションにおける信頼性の高い実証ポイントを有している
- 過去 1 年間の CSAT スコアは他社よりも高く、これはインフォシスの卓越したデリバリー実績を反映したものであり、顧客はそのメリットを受けられる
- IT ランドスケープの幅広い理解、ServiceNow の専門性、業務に特化した理解を主要な強みとしており、技術専門性と領域専門性で認知されている

- 購入者セグメントの全体に幅広く ServiceNow サービスを提供しており、購入者層の全域で顧客の要望に応じる能力があることが明らかである

インフォシスの提供する事前構築済み ServiceNow スイート「Infosys Enterprise Service Management Café」は、AI が導入されたプラグアンドプレイのソリューションです。50 個以上のプラグイン、プロセステンプレートとすぐにデプロイ可能なコードで、ServiceNow の導入を 40~50%短期化します。

クラウドインフラストラクチャーソリューション責任者および検証ソリューション担当エグゼクティブバイスプレジデント Narsimha Rao Mannepalli は次のように述べています。「Everest 社にリーダーとして指名されたことは、ビジネスのワークフロー全体をデジタル化して顧客のサービス管理ランドスケープを変革に導く、という当社のコミットメントを裏付けるものです。シンプルで直感的なセルフサービスポータルによるユーザーエクスペリエンスの向上により、各種業界向け業務アプリケーションを改善しました。当社が最近買収した [GuideVision 社](#) はトップクラスの ServiceNow パートナーであり、これは、当社が ServiceNow のグローバルな展開と投資に向けて行うコミットメントの一例です。ServiceNow と併せて [Infosys Cobalt](#) を活用しながら、当社の幅広い IT エンタープライズサービス管理機能を通じて、引き続き顧客のビジネス価値を最大化します。」

また、**Everest Group のバイスプレジデント Yugal Joshi 氏** は、「企業が ServiceNow の適用に期待できることは、今や ITSM 機能にとどまらず、IT 資産管理、DevOps、GRC、財務、人事ワークフローなどの、成果主導の統合サービス管理に及びます」と述べています。「変化しやすい顧客の期待に対応し、顧客の ServiceNow ジャーニーを加速するために、インフォシスは同社の『Enterprise Service Management Café』をはじめとする IP ツールを、インフォシス『Cobalt』の一部として構築しています。また、インフォシスのデリバリー能力、業界専門知識、そして ServiceNow の技術的ノウハウは、顧客にとって大きなメリットです。」

Everest Group の「ServiceNow Services PEAK Matrix® Assessment 2021」には[こちら](#)からアクセスできます。

関連記事:

- 弊社のサービスエクスペリエンス変革サービスの詳細は、こちらをご覧ください
 - www.infosys.com/services/experience-transformation.html
 - 企業のクラウドジャーニーを加速する、サービス、ソリューション、プラットフォームのスイート Infosys Cobalt の詳細は、こちらをご覧ください - www.infosys.com/cobalt

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにしま

す。。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2019 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 Email:jo_ando@infosys.com